

橋のしくみと橋の健康しんだん

橋をつくる

橋は昔から、川などを乗りこえて向こう側へ**渡る**ためにつくられてきました。
乗りこえたい**場所**や**長さ**によって、いろいろな形があります。

●昔の橋と今の橋(何が変わったろう?)



日本橋(にほんばし), 東京
(江戸時代の様子!)

昔(江戸時代)の橋
(木や石でつくられていた!)



眼鏡橋(めがねばし), 長崎
(今もそのまま使われている!)



【提供: 首都高速道路(株)】
レインボーブリッジ, 東京
(1993年開通、橋の長さは約1,500m!)

今の橋
(金属やコンクリートでつくられている!)

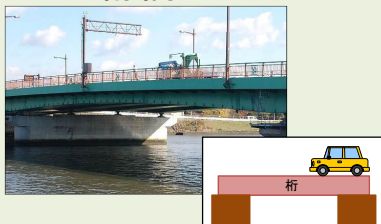
●いろいろな形の橋(見たことあるかな?)

短い橋

長い橋

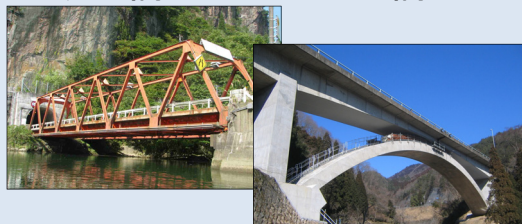
とても長い橋

桁橋(けたばし)



桁(けた)とは人や車が渡る部分です。桁橋は、箱など簡単な形の桁を渡した橋です。

トラス橋(きょう) アーチ橋(きょう)



三角形の骨組(△: トラス)や丸い形(⌒: アーチ)で桁を強くした橋。
橋を長くすることができます。

斜張橋(しゃちょうきょう) 吊橋(つりばし)



大きな柱と強力な金属製のロープで桁を支える橋。
とても長い橋をつくることができます。

橋を守る・直す

橋に異常が無いかいつも見守っています。
また、こわれそうになっていないか、**5年に一度、大きな点検**をします。
悪いところを**見つけたら**、さらに**悪くなる前に直します**。



ふだんは見るのができない橋の裏側も、特別な機械を使って、すみずみまでしっかり点検します。目で見ただけではなく、手でさわったり、たいて音を確認したりと、目と耳と手で、一つ一つチェックします。

もし、悪いところをそのままにしておくと...



こうなる前に、悪いところは、少しずつ計画的に直しています。

大手術が必要に!!



**安心して使える
しかも長持ち**